

I 目指す学校

「努力・信頼・継続」を校訓として、高い理想をもち、人間性豊かで平和な未来を開拓していく人材を育成する。

目指す学校像	1	高い目標を持ち、自らを律し、弛まぬ努力のできる人間を育成する。(努力)
	2	他者を思いやり、慈しむ人間愛の精神を持ち、社会から信頼される人間を育成する。(信頼)
	3	英知と創意工夫により努力を継続してさらに信頼を高め、豊かな未来を開拓していくことのできる人間を育成する。(継続)

II 中期的目標と方策

中期的目標	1	高い目標の育成	
	2	学習指導・進路指導の充実	
	3	規範意識と社会性・公共心の醸成	
	4	創意工夫・未来開拓の精神の育成	
	5	島の活性化に向けた人間力の育成	
方策	1	①移動教室、総合的な探究の時間、ホームルーム及び学校行事等を通して、職業、自己の適性及び進路について考えさせる。 ②オンライン等を活用した進路ガイダンス、進路講演会、進路面談、及び模擬試験等を充実させ、3年間を見通した系統的な進路指導を行う。 ③全生徒を対象として学力向上委員会を中心にケース会議を開催し、個別プログラム（個別補習体制等）を組み、組織的・計画的に指導することで生徒の希望進路の実現に向けて、基礎学力の定着を図る。 ④総務部を中心として ICT 機器の活用により主体的・対話的で深い学びの実現に向けて研究及び実践する。 ⑤図書室の整備、朝の読書の工夫等により、読書活動を推進する。 ⑥各種検定の受検を推進する。 ⑦すべての生徒がオリンピック・パラリンピック教育に関わる。 ⑧知識だけでなく、体験活動の充実を図る。	学習指導 進路指導
	2	①始業時間を守らせて、チャイムスタートの徹底を図る。 ②清掃指導の充実により、学校美化を推進する。 ③挨拶の励行・授業規律・頭髪服装等の身だしなみ指導の徹底を図る。 ④部活動や学校行事等で生徒の体力の向上の充実を図る。 ⑤スクールカウンセラーによる、生徒全員との面接等カウンセラーの有効活用を図る。 ⑥中学校との連携で、行事・部活動・生徒会活動・委員会活動の活性化を推進する。 ⑦いじめや体罰の調査を実施する。 ⑧教育相談委員会を活用し、生徒の変容を迅速に把握し、情報を共有することで事故の未然防止を図る。 ⑨特別支援コーディネーターを中心に、定期的に特別支援委員会を開催して特別支援教育を推進する。	生活指導 特別活動 部活動 特別支援教育
	3	①三宅村保小中高一貫教育推進委員会を通して、中高6年間を見通した教育を推進する。 ②出前授業やTT等の複数教員による指導を推進する。 ③GAP 認証を取得した農場を活用した芋掘り等の保小中高合同行事の充実を図る。 ④学校の人的・物的資源を有効に活用し、学校開放を行い、公開講座を積極的に開講し、また図書の一般貸し出しを実施する。 ⑤三宅島の復興・発展につながる島内のイベント等に協力する。また、農業科の農産物の販売促進を図る。 ⑥ホームページの定期的な更新を図り、情報発信に努め、生徒の募集対策や地域連携に寄与する。	地域連携・ 地域支援 広報活動
	4	①三宅村防災のしおりや本校の火山ガス濃度別行動基準に基づき、避難訓練を実施し、火山ガスに対する健康・安全指導の充実を図る等、防災教育を推進する。また、防災用品の備蓄倉庫を整備する等、危機管理体制を確立する。 ②地域と連携した防災訓練を実施する。 ③校内施設の危険箇所を早期に発見して改善する。 ④年間を通して、火山ガス対策、地震、火災、風水害、テロ対策等の防災訓練を行う。 ⑤感染症拡大防止への対応等の強化を図り、危機管理意識を醸成する。	防災教育 安全教育
	5	①グランドデザインに基づく生徒育成を組織的に行う。 ②経営企画室との連携を高め、計画的・効果的な予算編成・管理・執行を行う。 ③主幹教諭・主任教諭による計画的なOJTの推進を図る。 ④教職員の健康増進に向けた働き改革・ライフワークバランスの推進を図る。	学校経営 組織体制

III 今年度の重点目標及び方策

1	生徒の希望進路の実現
2	グランドデザインを柱とした生徒の育成を基本とする 21 世紀型能力を育む授業の実践及び日常的な補習等の学習指導の充実

今年度の重点目標	3	生活指導、健康教育の充実
	4	総合的な探究の時間・学びの保障の充実、読書活動及び実験・実習等の体験的な学習の充実、各種検定受検の推進
	5	三宅村保小中高一貫教育の推進・中高の連携強化
	6	避難訓練、火山学習等を通じた防災安全教育の充実。
	7	いじめ・体罰の根絶・未然防止
	8	島民との交流による三宅島の復興への寄与
	9	オリンピック、パラリンピック教育の継続
	10	特別支援教育の推進
	11	ライフワークバランスの推進・教職員の働き方改革の意識醸成
	12	感染症予防と感染状況に応じた教育活動の推進

方策	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年からキャリア教育を充実させ、進路ガイダンスや外部模試を実施し、生徒の進路意識を高める。 ・移動教室において外部連携を活用したインターンシップを実施して職業観を高めると共に TGG を活用して英語教育の充実を図り、グローバル人材の育成を目指す。 ・全生徒を対象に、希望進路実現に向けた個別プログラムを組み、進路指導部を中心として進路実現に向けた講習・補習を行うと同時に保護者対象の講演会を実施する。 ・長期休業中、週休日等に組織的・計画的な講習・補習を行い、基礎学力の定着及び大学受験等に向けた実力を養成する。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教科において、アクティブ・ラーニングや ICT 活用を取り入れた授業実践を展開し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善等に取り組む。 ・大学受験希望者に特別講習・補習・個別指導を行う。 ・放課後学習により家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ・学習管理表を活用して、PDCAサイクルを回した学習を行い、基礎学力を向上させる。 ・「総合的な探究の時間」、「学びの保障・オンライン学習推進」の充実を図るため、内容の精選・検討を行い、組織的・継続的な指導体制を確立する。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、日常の指導の充実及び強化週間等により組織的な生活指導を推進し、時間厳守の徹底・挨拶の励行・授業規律・頭髪服装等の身だしなみ指導の徹底、道徳心、愛校心の涵養を図る。 ・全教職員が清掃指導にあたり、学校美化に努める。 ・教育相談委員会を中心にスクールカウンセラーと連携をとり、指導の充実を図る。 ・アレルギー対策委員会を中心に教職員のアレルギーへの理解を深め、保護者との連絡を密にし、指導の充実を図る。 ・NPO 法人や産婦人科医等の外部人材を活用したがん教育及び性教育を実施する。 ・部活動、学校行事を更に充実させる。 ・生徒会・委員会活動指導の充実を図り、生徒の自主的な活動の支援を積極的に行う。 ・地域活動に積極的に参加する。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書を全校一斉に実施し、読書習慣を身に付けさせる。 ・漢字検定・英語検定・ワープロ検定、併合科における資格取得指導等を通して、学びに向かう力を育成する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・農業実習、プランターの提供、本校生徒による保育実習を行う等、保・小・中との連携を推進する。 ・村の保小中高一貫教育推進委員会を活用し、中高6年間を通じた学力向上・キャリア教育・健全育成等の方策を充実させる。 ・中学生とその保護者対象の学校説明会・体験授業、部活動交流、中高合同検定試験の実施等により中学校との連携を推進する。 ・小中高合同マラソン大会、保小中高合同作品展に向けた準備を計画的に行い、実施する。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回の火山ガス、泥流、台風、地震等の自然災害及び警察と連携した不審者テロ対策の避難訓練を組織的・計画的に実施し、危機管理意識を醸成する。また、登下校時・校外学習時等における防災意識を醸成する。 ・施設設備の再点検を行い、校内での危険箇所等の修繕を含め、効果的な整備計画を作成する。 ・防災用品備蓄倉庫の整備及び防災用品の充実を図る。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の教職員の目で生徒の状況を観察して、異変に気づいたらすぐに報告する体制をつくる。 ・体罰を伴う指導はしない。また、体罰を伴う指導が起きないように研修会を行う。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放・公開講座・ボランティア活動・図書的一般貸し出し等により、地域貢献を推進する。 ・三宅島復興・発展につながる島内のイベントに参加・協力・貢献する。また、GAP 認証を広め、農産物等の販売を促進する。
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材を活用した講演会等を計画、実施する。 ・体育の実技の時間で、オリパラ関連競技を体験する。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターを中心として、教育相談及び特別支援教育を推進するとともに通級指導の充実を図る。 ・特別支援教育の理解を深めるため全職員が通級の指導を年2回以上参観する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇等の積極的取得を推進する。また、教職員の在校時間の上限1月45時間、1年360時間を厳守する。 ・職層に応じた職務を果たし、若手教員等の指導を行い業務の縮減を図る。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策の実施。感染の状況に応じた適切かつ柔軟な教育活動を実施する。

IV 今年度のⅢに対する数値目標			4年度	←	3年度	←	2年度
1	・学力を伸ばすための指導がなされているか肯定意見	100%	82%	←	80%	←	80%
2	・学校生活の満足度肯定意見	100%	68%	←	50%	←	80%
3	・朝読書への取り組み肯定意見	100%	43%	←	63%	←	45%
4	・各種検定資格取得	50%以上	35%(全体)	←	11%(全体)	←	5%(全体)
5	・三宅小・中学校との連携が図られているか肯定意見	90%以上	70%	←	68%	←	72%
6	・希望進路の実績	100%	100%	←	100%	←	89%
7	・部活動や行事満足度	100%	65%	←	59%	←	85%
8	・健康安全に対する指導満足度	100%	83%	←	79%	←	89%
9	・保護者・地域への情報発信	95%以上	82%	←	83%	←	72%
10	・施設・設備への取組	90%	80%	←	63%	←	83%

